

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金

2021年7月21日

商工中金

地域金融機関と協調し、硝子容器の多品種小ロット生産を行う 柏洋硝子株式会社様に対して総額11億7,000万円のシンジケートローンを組成

商工中金は、シンジケートローンなどの取組みを通じて、地域金融機関と連携し、中小企業の金融の円滑化を図り、地域経済の発展に貢献しています。

商工中金（東京支店）は、柏洋硝子株式会社様（本社：東京都港区、代表者：七島 徹様）に対し、総額11億7,000万円のシンジケートローンを組成しました。本シンジケートローンは、商工中金と大東銀行がアレンジャーを、東邦銀行、きらぼし銀行がコ・アレンジャーを務め、地域金融機関との協調により、その組成が実現したものです。

同社は、食品や化粧品等を保管する硝子容器の製造業者です。福島県に生産拠点を構え、用途に応じ500種類超の硝子瓶を製造するとともに、芝浦工業大学との共同研究により、開けやすく割れにくい硝子瓶を開発するなど、優れた技術力やデザイン力が高く評価されています。

今回、同社は、本シンジケートローンで調達した資金を活用し、営業キャッシュフローと財務キャッシュフローのミスマッチを解消するとともに、在庫や生産管理を高度化して新たな販路拡大と将来の設備入替に向けた体制を整えていきます。

商工中金は、工場訪問や経営者ヒアリングを通じた綿密な事業性評価を Value up レポート（※）にまとめ、同社の強みや財務上の課題を地域金融機関と共有。同社の企業価値向上には、有利子負債の削減と債務のリストラクチャリングが必要と考え、地域金融機関と協調して本融資契約を締結しました。なお、本件は「経営者保証に関するガイドライン」に則り無保証とし、次世代への円滑な事業承継を後押しするとともに、金融機関の支援体制強化に貢献しています。

商工中金は、地域金融機関と連携してお取引先の課題解決に繋がる財務構造改革のサポートと本業支援を行うことで、中小企業の価値向上を図り、地域経済の発展に貢献していきます。

（※）お客さまとの信頼関係を深め、課題やニーズを共有し、企業価値を高めるための事業性評価ツール

【本シンジケートローンの概要】

組 成 金 額	11億7,000万円（コミットメントライン9億5,000万円、 タームローン2億2,000万円、）
共同アレンジャー	大東銀行3億3,000万円、商工中金3億8,000万円、
エージェント	商工中金
コ・アレンジャー	東邦銀行2億7,000万円、きらぼし銀行1億9,000万円
契約締結日	2021年7月12日

【柏洋硝子株式会社様の概要】

所 在 地	東京都港区西新橋3-8-1	資 本 金	4,500万円
代 表 者	七島 徹様	従 業 員 数	141名（2021年5月現在）
業 種	硝子瓶製造業	設 立	1961年6月